

—特集—

南幌の平成史①

約200年ぶりに天皇陛下が譲位され

新しい時代「令和」が始まりました。

わたしたちの生活にも身近な元号。

皆さんにとって

「平成」とはどのような時代でしたか。

変わりゆく街並みを見守ってきた方々に

お話を聞きながら

平成の南幌を振り返ります。

平成の半分を駆け抜けた祭り

—なんぼろ米まつり

3代目実行委員長 内田一之さん

後に、平成16年の第15回まで続くことになる「なんぼろ米まつり」。私の平成の思い出を語るとすれば、外せない出来事でしょう。

平成2年の初回、私は実行委員として施設班を任せました。祭りのメインイベントは「どろんこサイクルレース」。初回の会場に選んだ今の北町公園のあたりに、田んぼに見立てた池を作り、その上に板を渡して自転車のコースを作ったのです。8月の最終日曜日が本番で、始動が前年の秋頃。実行委員は、私を含めて50人ほどいました。

「南幌に大勢の人を呼びたい」そんな想いが始まりで、有志が集い実行委員会を立ち上げました。他町



▲思い出のアルバムDVDとオリジナルテレカ





平成元年

■北の大地で熱いドラマ
～はまなす国体～

9月16日から20日まで、はまなす国体南幌クレ射撃競技会が開催されました。“空知開拓の火” 炬火リレー、金管バンド少年団による式典演奏、選手監督260名を民泊で迎え入れるなど、北の大地で行われる半世紀に一度の壮大なドラマを、まち全体の力を結集し成功させました。

平成2年

- なんぼろ米まつりを初開催（8月）
- 京都府京北町との姉妹町締結（10月）



平成3年

- 南幌町営温泉オープン（2月）

平成4年

- 防災無線開通（2月）
- スポーツセンター完成（9月）
- 南幌町開基100年記念式典（11月）

平成5年

- 学校給食センター完成（3月）



平成6年

- みどり野幼稚園開園（4月）
- 夕張太ふれあい館完成（4月）

平成7年

- 南幌温泉に宿泊棟を増築し、南幌温泉ハート＆ハートがオープン（3月）
- ふれあいタウン稲穂分譲開始（9月）

平成8年

- みどり野小学校開校（4月）
- リバーサイドカートランドオープン（5月）

平成9年

- 小学校3校にコンピューター教室設置
- 柳陽公園オープン（7月）

米まつりの名物企画「どろんこサイクルレース」でバランスを崩す参加者とそれを笑顔で見守る観客。優勝賞金20万円を目前に力が入ったか。

（平成9年8月撮影）

でキャラバン活動をしたり、ラジオ出演も叶い、当日は予想を上回る150名もの男女がレースに参加しました。祭り全体の来場者も、多い年で1万人を超えました。なぜこれだけの規模になったか…。それは、まち全体が一体となって創り上げている感覚と、何より自分たちが楽しめていたことが要因だと思っています。

今、南幌の農家青年たちが盛り上げていく「野祭」。あの頃の自分たちに重なるようで、とても応援したい気持ちです。彼らに伝えたいことは、「とにかく自分たちが楽しむことだよ」と。長く続けるための秘訣でもありますし、ぜひこれからも世代交代を重ねながら、新しい時代を盛り上げていってほしいですね。

平成10年

- 夕張太小学校開校100年記念式典
- 保健福祉総合センター「あいくる」完成（10月）
- 人口1万人突破（10月）

平成11年

- 花市(花仙人掌主催)を初開催（5月）



平成12年

- まちの情報と交通の拠点「ビューロー」オープン(4月)



「まちのシンボル」として、また市街地の活性化や観光情報等の提供の場を目的に建設され、特産品販売所や軽食コーナー、バス待合所、展望室を備えました。

平成13年

- 町内巡回バス運行開始（10月）



平成14年

- 第1回キャベッジマラソン大会を開催（10月）
- 栗幌橋完成（10月）



平成15年

- 南空知近隣3町任意合併協議会設置（7月）
- 南幌小学校創立30周年記念式典（11月）

平成16年

- 南空知3町合併協議会に移る（2月）
- 道営住宅柳陽団地60戸完成（9月）

平成17年

- 第10回環境保全型農業推進コンクールで「なんぼろピュアライス」が大賞受賞（2月）

平成18年

- PGJクラブ南幌コースオープン（8月）

平成19年

- せわずき せわやき隊設立（5月）



創業119年 4つの時代を超えて
イチガイセ竹居田

3代目店主 竹居田栄二さん

祖父がこの店を始めたのが明治33年。当時は菩提寺の傍にあり、酒・雑貨・米というように、何でも売っていました。その後、鉄道が来てからは、今の場所(中央3丁目)に移転して呉服店を始めました。私

—特集—

南幌の平史②



中央通りの夜を、皆で持ち寄った
アイスクャンドルの光が優しく灯す。(平成18年2月撮影)

も20歳過ぎにはお店の手伝いを始めましたが、当時の中央通り商店街の賑わいは忘れられません。飲食店はもちろん、家具屋や自転車屋、おもちゃ屋まで…。表では常に若者が歩いているし、お正月には行列ができましたよ。お店同士の繋がりが深く、今でも大切な仲間です。

ただ、時代の流れとともに担い手は減り、お店の数も随分と減りました。どこの町も同じですが、やはり一緒に商店街を盛り上げてきた仲間が去っていくのは寂しいものです。私自身7年前に体調を崩したことがあり、家族が心配し、お店を続けることはもう難しいのではないかと言われました。ですが、ここに来るお客さん方とのふれあいが、私たちにとってかけがいのないときですし、これからは妻と二人健康で長く続けられればと思っています。

私は、この町に住む方々の人間味が大好きです。大変なときは、いつも助け合ってきました。これから来る時代も平成のようによろこばかで、そして、またかつての賑わいを取り戻してくれることを願っています。



—特集—

南幌の平成史③

実に多くの出来事を刻んだ「平成」。

「令和」の時代には、一体どのような出来事が

待っているのでしょうか。

皆が、穏やかで心豊かに過ごせる時代を

ともに創り上げていきたいと思います。

“心のふるさと”を今も思う

—みどり野小学校開校時1年生
平成元年生まれ 杉山晋太郎さん

久しぶりにここに来ましたが、当時の記憶は今でも鮮明です。僕は、みどり野小学校（現南幌小学校）の校舎が大好きで、特にこの「みどりのホール」と呼ばれていたスペースがお気に入りでした。スーパースポールを上から落としたり、上級生とトランプをしたり、放課後も1時間ぐらいいここに居座っていました（笑）。

当時は、子どもの数が多かったのですが、公園にいけば必ず誰かがいて、キック



ベースをしたり、ドッジボールをしたり……。夏休みのラジオ体操の後には、その日の遊びのスケジュールを話し合いながら帰ったことが良い思い出です。高校を卒業すると同時に、私も含めて皆が町を離れま



平成20年

- 稲穂公園パークゴルフ場オープン（5月）
- 南空知3町合併検討委員会設置（5月）
- 南幌高校創立50周年記念式典（10月）

平成21年

- 合併について意思を問う住民投票実施（3月）
- 合併検討委員会から南幌町離脱（3月）

平成22年

- 熊本県多良木町と姉妹町締結（2月）

平成24年

- 新たな歴史、伝統を
～新南幌小学校開校～

4月、町内の小学校3校が統合し、新南幌小学校が開校しました。校舎は旧みどり野小、校章は旧南幌小、校訓は旧夕張太小から引き継がれました。

- 南幌町120周年 町制施行50周年記念NHK
のど自慢開催（4月）

平成25年

- スポーツ少年団本部創立30周年記念式典
（11月）

平成27年

- 生涯学習センター「ぽろろ」オープン（4月）
- 特産品少女「Speciality Girls」誕生（9月）

平成28年

- 子育て世代住宅建築助成事業を開始（4月）
- 町民プール完成（5月）
- なんぼろリバーサイド駅伝を初開催（7月）
- 野祭（農猿主催）を初開催（9月）
- デジタル防災無線の戸別受信機を全戸配付
（11月）

平成29年

- デジタル防災無線の運用を開始（4月）

平成30年

- 住宅展示場「南幌町みどり野きた住まい
るヴィレッジ」オープン（6月）

南幌町を代表する祭りとして成長を続ける「野祭」。恒例のトラクター綱引きでは、子どもたちが息を合わせて綱を手繰り寄せます。（平成30年9月撮影）

したが、正月には今でも町内の飲み屋さんに集まって小中学生時代の話をします。酔うと必ず、当時のバカ話をするんですが、それって、それだけ充実した少年時代を過ごせたからだと思っんです。

新しい時代、南幌町に願うことは、これからも子どもたちにとって良い町であってほしいということ。毎日いきいきと遊んで、学んで、大人になった時に、自分たちのように思い出話に花を咲かせられるように。それから、今、私は介護の分野で働いていますが、子どもとお年寄りの交流が盛んになれば嬉しいです。子どもたちにとっての学びとなり、お年寄りが楽しみや生きがいを見出せば、更に明るい町へと発展すると思います。